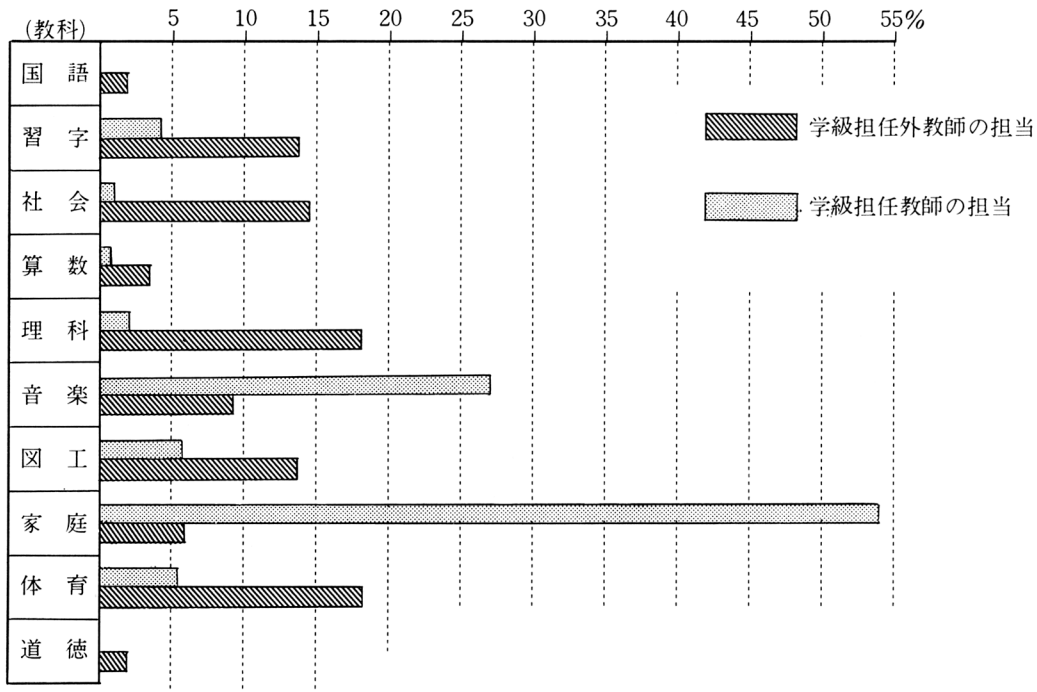


第6図 学級担任・学級担任外教師別にみた奉仕担当教科



第18表 奉仕担当の教科

%

教科	規模			
	～ 6	7～17	18 ～	全体
国語	0.5	0.8	0.3	0.5
習字	5.2	9.7	6.7	7.2
社会	3.9	6.2	3.5	4.6
算数	1.0	1.0	1.5	1.1
理科	5.7	8.5	5.5	6.7
音楽	24.1	22.9	16.6	21.9
図工	7.7	7.8	9.6	8.2
家庭	45.4	32.4	42.6	40.2
体育	6.2	9.9	13.1	9.1
道徳	0.3	0.8	0.6	0.5

9. 学校単位にみた教授組織の類型

(1) 学校規模ごとにみた類型の比率

これまでは、「学級担任外専科的」「学級担任専科的」「交換担当」「奉仕担当」の形態ごとに分割してあげたが、ここでは、学校単位にみた形態のまとまりをとりあげた。

学校ごとにみた場合のまとまりを示すため、便宜上、第Ⅱ表担当形態の記号を用いた。

㊦、㊧、㊨、㊩の4形態のとりいれかたは、簡単なものから複雑なものへ、そしてその中間のもの、多くの類型が考えられようが、実態は第19表のようである。

㊦ 全体的傾向

全体的な傾向としていえることは、(A)(B)の比率が低く、(C) 両者担当と形態が複合して行われている場合の比率が高い。

この傾向は、小規模校においては、(B) が25%を占めていて必ずしも明確でないが、中規模校、大規模校ではあきらかである。

㊦ 学校規模ごとの傾向

比率の高い類型を、学校規模毎にみても⑰がどの規模にも共通しており、⑳が大規模、中規模、㉑が中規模、小規模に共通している。大規模の⑲、中規模の⑰、小規模の⑪・④など